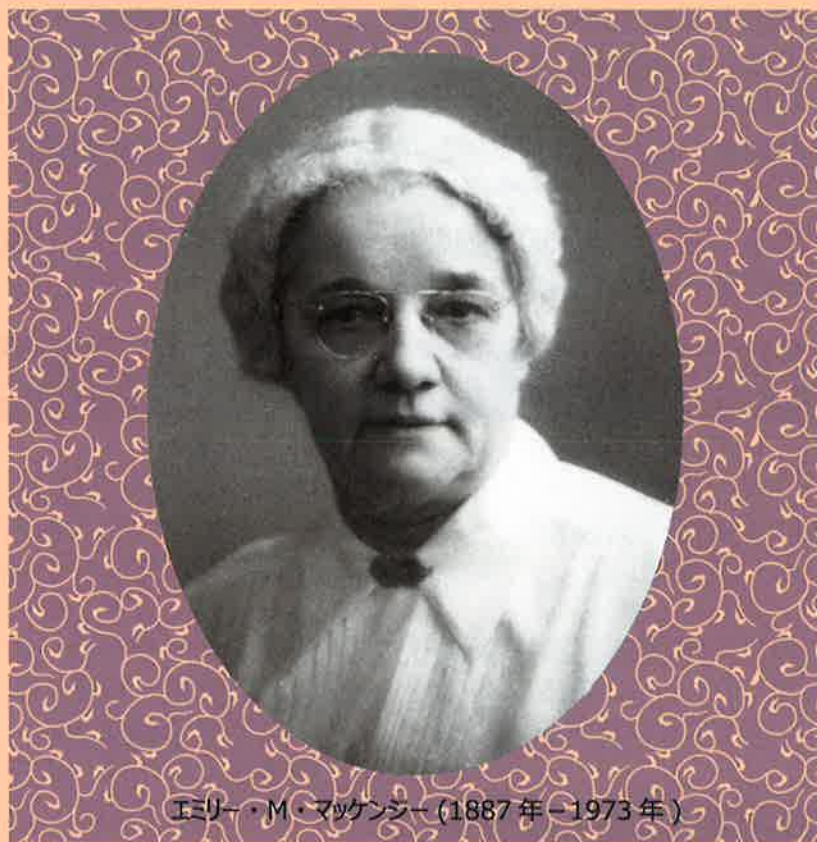


パネル展

旧マッケンジー住宅顕彰事業

優しさで包む人 エミリー・M・マッケンジー

～社会福祉に捧げた人生 静岡市名誉市民第1号～



エミリー・M・マッケンジー (1887年 - 1973年)

国登録有形文化財である旧マッケンジー住宅を舞台に、日本茶輸出のパイオニアとして日本茶業界の拡大に貢献した夫ダンカン・J・マッケンジーを支え、夫亡き後も静岡市に留まり社会福祉事業に貢献した、エミリー・M・マッケンジーの業績と人となりについて写真、解説等によるパネル展示で紹介いたします。

※期間中、常設展示『住む人の心に寄り添う建築ヴォーリズの洋館たち』～旧マッケンジー住宅を建てた建築家の功績～、『マッケンジー氏と静岡茶』～静岡茶貿易のパイオニア～、特別展示『海辺の洋館のクリスマスカード展』12月1日(木)～12月25日(日)も開催いたします。

会期 平成28年 平成29年
10/1(土)～3/20(月・祝)

会場：旧マッケンジー住宅 (住所：静岡市駿河区高松 2852)
開館時間：午前9時～午後4時30分



■ 優しさで包む人 エミリー・M・マッケンジー

～社会福祉に捧げた人生 静岡市名誉市民第1号～

旧マッケンジー住宅とは

旧マッケンジー住宅は、静岡市駿河区高松の海岸沿いに建つ、白い壁が美しい洋館です。この屋敷に住んでいたダンカン・J・マッケンジーとエミリー・M・マッケンジーの夫妻は、大正7年にアメリカから来静して、日本茶業界の拡大に貢献した人物です。富士山が好きだった夫妻は、昭和15年に富士山のよく見える高松の海辺を選んで自宅を建設しました。

この建物を設計したのは、日本各地に多くの作品を残した建築家のウィリアム・M・ヴォーリスです。赤い西洋瓦葺きの屋根、スタッコ仕上げの荒い白壁、アーチ型の窓などが用いられたスパニッシュスタイルの住宅で、夫妻はこの屋敷にペガサス座の星の名から取った“HOMAM(ホمام)”という愛称をつけて親しんでいました。

昭和47年に夫人が帰国した際に屋敷の敷地の半分が静岡市に寄贈され、残り半分と建物は静岡市が買い取りました。現在は一般に公開されています。



▲国登録有形文化財。中央の展望室からは、美しい富士山と海を眺める事ができます。

■ おいしい静岡茶の入れ方とお話し

参加者募集

- 日 時：11月12日(土)13:30～16:00
- 会 場：旧マッケンジー住宅
(静岡市駿河区高松 2852 番地)
- 対 象：どなたでも 定員 30名
- 講 師：日本茶インストラクター
- 申込方法：10月3日(月)～電話で(公財)静岡市文化振興財団 (TEL:054-255-4746 / 平日9:00～17:30)まで。申込順。
- 会 費：無料

- 内 容：
静岡茶の輸出に貢献したマッケンジー夫妻は、生前自宅へ知人を招待してティーパーティーを開いていました。
本講座はマッケンジー夫妻の住宅にて、日本茶インストラクターによる解説で、美味しい静岡の紅茶と煎茶の入れ方や静岡茶の歴史について学ぶ講座です。
講座終了後には、旧マッケンジー住宅の見どころを解説するガイドツアーもあります。

静岡市お茶の日記念事業

■ 旧マッケンジー住宅 見学利用のご案内

住 所：静岡市駿河区高松 2852 番地
電 話：054-237-0573
開館時間：午前9時～午後4時30分
月曜休館
祝休日は開館、翌平日休館
入場無料

<行き方> バス：しずてつジャストラインバス石田街道線、「浜敷地」または「敷地北」下車、徒歩5分。
車：下図矢印のとおりに進入してください。国道150号線から右折進入はできません。駐車スペースに限りがあるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

